

主な内容

- 新任教授の挨拶
- 「がんセンター」のご紹介 他



Iwate Medical University Hospital News

地域医療連携だより

2020年7月号



岩手医科大学附属病院



内丸メディカルセンター

ご紹介

外科教授のご紹介

医 学 部 外 科 学 講 座

教授 新田 浩幸



2020年5月1日付けで岩手医科大学外科学講座の講座内教授を拝命しました。肝胆膵・移植分野を専門として診療を担当しており、肝胆膵悪性・良性疾患に対する拡大手術、腹腔鏡下手術、化学療法、肝移植（生体・脳死）など幅広い治療選択肢から、最も適した治療は何かを考え診療にあたっております。

私は釜石に生まれ、高校まで釜石で過ごし、1993年（平成5年）に岩手医科大学を卒業しました。卒業後は外科学第一講座（斎藤和好教授）に入局し、一般外科・消化器外科領域の全般にわたる臨床技術を学内外で多くの外科の先輩や他科の先生から学びました。1999年からは肝胆膵疾患を中心に診療を行っており、これまで約2,500件の肝胆膵手術（腹腔鏡下胆嚢摘出術を除く）を経験しております。外科学講座では積極的に内視鏡下手術を行っておりますが、腹腔鏡下肝切除術は1997年より導入し、自らはそのほとんどの患者で術者または第1助手として手術に携わってきました。現在では700件を越え、わが国で最も症例数の多い施設となっております。肝胆膵領域の腹腔鏡手術は肝切除以外にも膵体尾部切除術、膵頭十二指腸切除術、胆管切除術を積極的に行っており、今後はロボット手術も視野にいれております。

本学で生体肝移植を導入するため、2006

年に京都大学肝胆膵移植外科に短期留学し、2007年から行われた本学での生体肝移植には、第1例目からすべての症例に携わりました。現在は生体と脳死を合わせて100件を超えております。各診療科、メディカルスタッフの協力のもとに良好な成績を得ることができ、2011年には脳死肝移植施設としても認定されました。肝胆膵外科領域では高度進行癌に対する手術も多く、動門脈や肝静脈など血管の合切再建も必要となりますが、肝移植の経験から安全に行うことができっております。

高侵襲で高難度手術である臓器移植から低侵襲手術である腹腔鏡下手術までを安全に質の高いレベルで行っている施設はごく一部であり、我々の特色でもあります。患者に高度な医療を提供するとともに、当院の手術・治療患者から得られた新しいエビデンスを国内外に発信したいと考えております。また、微力ながら岩手県の医療の発展に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

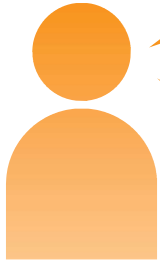
患者さんの声

から改善しました！



当院では患者さんの声を聞くため、院内の20ヶ所に「投書箱」を設置しております。患者さんからいただいた貴重なご意見から、改善した事例をご紹介します。

事例1 ランドリーコーナーの乾燥機の位置が高い



病棟のランドリーコーナーの乾燥機の位置が高く届かない。

中が確認できず取り忘れが・・・



before



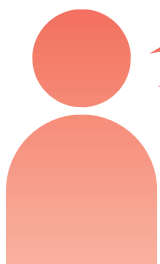
after

乾燥機を移設しました。貴重なご意見有難うございます。

ランドリーコーナーの乾燥機が洗濯機の上に設置されており、「高い」「取り忘れる」との声を頂きました。このご意見から、1つの病棟で試験的に右図のように移設し、患者さんにアンケートを実施しました。多くの好評の声をいただき、8つの病棟で乾燥機を移設致しました。



事例2 便座クリーナーを設置してほしい



トイレが汚れている時がある。

便座クリーナーなど設置してほしい。



before



after

便座クリーナーを設置しました。貴重なご意見有難うございます。

トイレ使用時に汚れがあるため、便座クリーナーの設置を希望する声が寄せられ、清掃強化で対応しておりました。その後も設置を希望する声が多く寄せられ、便座クリーナーを外来75ヶ所、病棟160ヶ所の計235ヶ所に設置致しました。



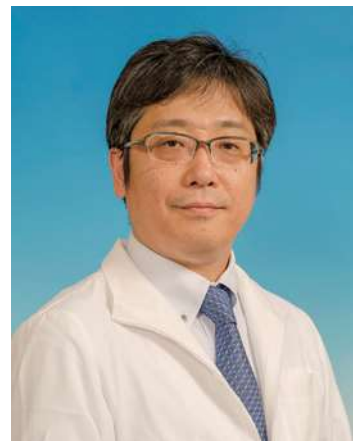
患者中心のやさしいがん医療の提供

がんセンターのご紹介

がんセンターは、2007年に都道府県がん診療連携拠点病院の指定にともない設置され、「患者中心のやさしいがん医療の提供」を理念に、多診療科および多職種一丸となり、患者さん本位の最善のがん医療の提供に努めております。

がんセンターには、「がん相談支援センター」、「化学療法センター」、「緩和ケアセンター」、「がん登録室」、「がん診療連携室」、「がんゲノム室」の3センター3室に加え、「放射線治療部門」、「病理診断部門」、「医科歯科連携部門」、「栄養部門」等のエキスパートが集まり、診療科・職種横断的ながん医療を進めております。

また、当院ではがん患者さんご家族への精神面のサポートを目的とした「がん患者・家族サロン」を開設しており、体験者どうしで悩みや不安を話し合ったり、専従スタッフが病気や治療についての皆さんの知りたい情報を探すお手伝いをしております。



がんセンター長
血液腫瘍内科 教授
伊藤 薫樹

各室紹介



がん相談支援センター

Iwate Medical University Hospital Cancer Center

がん相談支援センターは、がん医療に対する患者さんご家族の不安と、信頼できる情報がほしいという要望から生まれた全国のがん診療連携拠点病院に設置されている相談窓口です。①どなたでも無料で利用でき、②相談員が信頼できる情報を探し、③相談者に寄り添い困りごとを一緒に考え、解決できるように支援し、④医師、看護師等と相談者の橋渡しを行う場です。当院では1階患者サポートセンター内に設置されております。お気軽にご相談ください。



化学療法センター

Iwate Medical University Hospital Cancer Center



化学療法センターでは、外来でのがん化学療法を希望する患者の生活の質の維持と向上を目指し、すべての診療科が使用することができるがん化学療法専用の通院治療室です。移転後、リクライニングチェアが30台と増床し、個人の空間を大事にしてゆったりした治療ができます。また、がん化学療法に精通した医師、看護師、薬剤師を配置し、日常生活を送りながら外来で治療が行えるよう安全かつ安心できる体制を整備しております。



緩和ケアセンター 緩和ケアチーム

Iwate Medical University Hospital Cancer Center

緩和ケアセンターは、2007年から活動を開始した『緩和ケアチーム』が礎となり、がん患者さんとご家族の生活の質（QOL）の向上を目指して2015年4月に開設致しました。当センターは現在、中心となる『緩和ケアチーム』をはじめ、『緩和ケア外来』、『緩和ケア病棟』が一体となり、〈切れ目のない緩和ケア〉の実践にあたっています。私たちは、がん患者さんのみならずご家族等の、体のつらさ、心のつらさ、生活のつらさなど、様々なつらさを和らげるためのお手伝いを、多職種が集うチーム医療で対応して参ります。

お困りごとのある方、ご不安をお持ちの方はいつでもご連絡下さい。お待ちしております。



がん登録室

Iwate Medical University Hospital Cancer Center

当院では、2007年4月より厚生労働省が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を開始いたしました。また、2016年の「がん登録等の推進に関する法律」の施行に伴い、この法律に従い院内がん登録を実施しています。登録は、国立がん研究センターより認定を受けた専門知識を持つ実務者が行い、国立がん研究センターへ院内がん登録情報を提出するとともに、岩手県へ全国がん登録情報を提出しています。これからも患者さんへの適切な医療の提供のために、より高い精度での登録を心がけて参ります。



がん診療連携室

Iwate Medical University Hospital Cancer Center

がん診療連携室は、2019年9月の病院移転に際し、新たに矢巾附属病院と内丸メディカルセンターの両院に設置された患者サポートセンターの地域医療連携部門の一部として業務を行っております。主な業務として、紹介患者様の受付、セカンドオピニオンの受付、地域連携パス（胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がん、前立腺がん）の対応を行っております。今後も関係施設の皆様との診療連携の推進に努めて参ります。



がんゲノム室

Iwate Medical University Hospital Cancer Center

がんゲノム室では、がんゲノム医療を地域において提供するがん診療連携拠点病院の役割を管理・実践することを目的としております。「がんゲノム医療」は、がん組織に特有の遺伝子変異情報に基づいて治療を行うものです。従来がん治療は概ねがんの種類で決まっていたますが、がんゲノム医療によって、がんの種類よりも遺伝子の変異が、治療の根拠となることがあります。当院は、県内唯一の「がんゲノム医療連携病院」に指定されており、「遺伝子パネル検査」の一部を保険診療にて行っております。検査を希望される方は、主治医とご相談の上、是非お問い合わせ下さい。

がん患者・家族サロンのご紹介

当院のがん患者・家族サロンは、がん患者およびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。当院での治療の有無に関わらずどなたでも利用できます。

情報交換と親睦の場



がん患者・家族サロンは、「患者や家族同士で気軽に不安や悩みを語り合い、元気になれる場が欲しい」という患者さんの"声"から生まれました。

専従スタッフや患者会のボランティアが患者さんおよびそのご家族の生活の質(QOL)の向上のため相談をお受けします。

辛い治療中の患者さんを元気づけたいと患者会などさまざまな方からのコットン帽子や折り紙など寄付があり、それを橋渡ししております。

情報の収集



国立がん研究センターから各種がん冊子やがん治療中の食事のヒントやレシピの冊子、がん治療と仕事を両立するためのQ&A、がん治療の医療費についての冊子などたくさん取り揃えております。

また、ウィッグ・ケア帽子、補正下着などさまざまなパンフレットもご準備しております。わからないことがありましたら、スタッフにお聞きください。

よろず相談



がんに関する疑問や相談について医療者が対応いたします。看護師、薬剤師、栄養士、医療相談員(医療ソーシャルワーカー)等専門の医療者が、日替わりでお受けしております。対応時間は13:30～16:30で予約不要・無料です。

サロンの専従スタッフがゆっくりとお話を伺いながら、必要に応じた職種におつなぎします。

がん情報図書館



入院中の患者さんや通院の患者さんとその家族の方に少しでもお役に立てていただくため、図書コーナーを設けております。一般の方向けの病気に関する図書(闘病記も含む)や雑誌を診療科別に配架しており、自由に閲覧でき貸出も行ってあります。

病気について調べたいことやお時間がありましたらぜひご利用ください。



「障がい児者医療学講座」 が開設されました

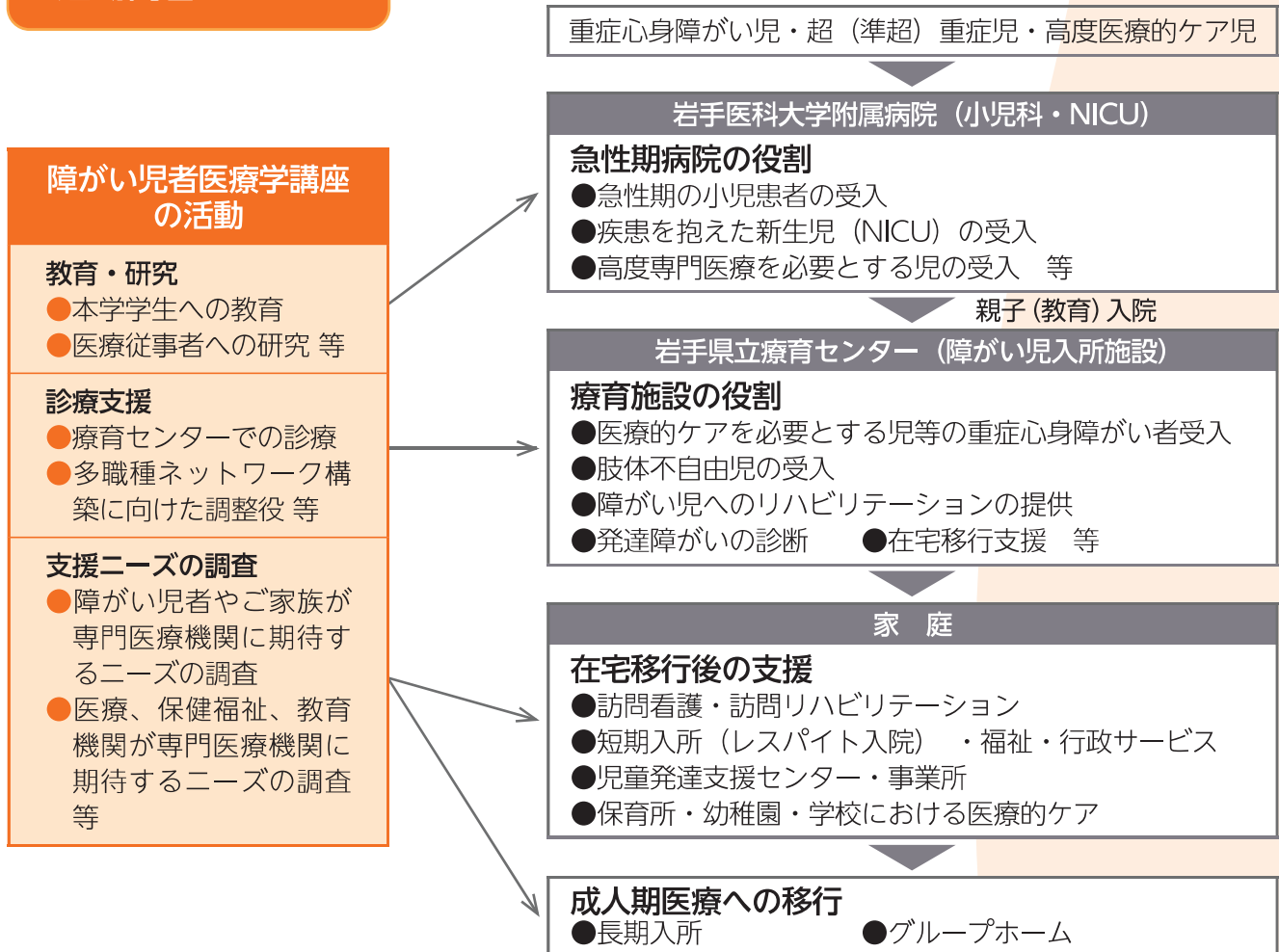
2020年4月、岩手県の障がい児者医療のより一層の充実を目指し、岩手県からの寄付講座として本学医学部に「障がい児者医療学講座」が開設されました。本講座では、障がい児者医療に関する医師、医療・福祉従事者の育成をおよび確保の推進を目的として、この分野における医療従事者への研修や4学部学生に対する教育、家族を中心に据えての多職種ネットワークの構築、岩手県立療育センターでの診療をサポートし、県が行う障がい児者への支援事業に係る助言および診療の実践により、岩手県の障がい児者に係る療育支援体制の強化を図ります。

また県内全域における医療・保健福祉・教育機関と患者家族の専門医療機関に期待するニーズを調査し、障がい児者が適宜適切なサポートが受けられるよう、ニーズに基づいた支援体制の強化を目的とする調査研究を行います。

講座概要

- 【講座名】障がい児者医療学講座
- 【寄付者】岩手県
- 【講座教員】亀井 淳 特命教授
清水 奈央 特命助教
浅見 麻耶 特命助教
- 【目的】障がい児者医療を担う人材育成・確保
障がい児者を支える環境整備・充実等
- 【設置期間】2020年4月1日～
2023年3月31日

活動内容イメージ



2021年度
研修生
募集

緩和ケア認定看護師教育課程 特定行為教育課程

募集案内

●緩和ケア認定看護師教育課程 10名程度

※ 2021年度より、特定行為研修を組み込んでいる教育課程(B課程)に移行します。(B課程申請中)
(募集期間: 2020年10月1日～10月30日必着)

●特定行為教育課程 10名程度

※ 2021年度より、外科パッケージ、在宅パッケージ、選択コースを開始します。(追加区分認可申請中)
(募集期間: 2020年7月7日～8月21日必着)

受験相談 随時受付中

- 受講概要の説明
- 出願書類の記入方法の説明
- 施設見学(講義室、図書館など)

●詳しくはホームページをご覧ください。

岩手医科大学 高度看護研修センター

検索



←こちらのQRコードからも
アクセスできます。



■お問合せ先

岩手医科大学附属病院
高度看護研修センター

TEL: 019-613-7111 (内線 6160)

●受講スケジュール (2021年4月～2022年3月)

	認定看護師養育課程 (緩和ケア分野: B課程)	特定行為教育課程 (外科・在宅・選択)
4月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開講式 ■ 特定行為研修 共通科目 <ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング ・集合研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開講式 ■ 共通科目 <ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング ・集合研修
8月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定行為研修 区分別科目 <ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング ・集合研修 ・実習 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コースごとの区分別科目 <ul style="list-style-type: none"> ・外科パッケージ <ul style="list-style-type: none"> ー e-ラーニング ー 集合研修 ー 実習 ・在宅パッケージ <ul style="list-style-type: none"> ー e-ラーニング ー 集合研修 ー 実習 ・選択コース <ul style="list-style-type: none"> ー e-ラーニング ー 集合研修 ー 実習
9月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩和ケア認定看護分野 <ul style="list-style-type: none"> ・集合研修 	
12月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 在宅緩和ケア実習 (5日間) 	
1月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩和ケア病棟実習 (15日間) 	
2月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ケースレポート 	
3月～	<ul style="list-style-type: none"> ■ 終了試験 ■ 修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 終了試験 ■ 修了式

地域医療連携だより(岩手医科大学附属病院)7月号

【発行日】2020年7月1日

【発行】岩手医科大学附属病院 患者サポートセンター(地域医療連携センター事務室)
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2-1-1
TEL: 019-613-7111 (内線4152) FAX: 019-611-8071

【印刷】河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7 TEL 019-623-4256 E-mail: office@kahoku-ipm.jp



岩手医科大学附属病院
患者サポートセンター